

イソギンチャクの利用法

ヤドカリの中にはイソギンチャクを背負っているものがあります。

なぜこのような生活をしているのでしょうか。

ソメンヤドカリなど、ヤドカリの仲間には、
かいがら
貝殻にイソギンチャクをつけて生活している
ものがいくつかいます。ヤドカリにとって、い
くつかメリットがあるからです。

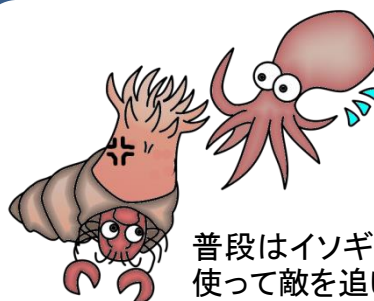
イソギンチャクには「刺胞」という毒針があ
るため、ヤドカリの敵である魚やタコなどが
近づかなくなります。つまり、ヤドカリにとっ
てイソギンチャクは敵を追い払ってくれる用
心棒なわけです。

また、実験で餌を少なくすると、ヤドカリは
イソギンチャクを食べてしまいます。自然界
でヤドカリの餌が不足することはあまりない
ので、普段はイソギンチャクを食べることは
ないようですが、いざというときにはイソギン
チャクは非常食になるわけです。

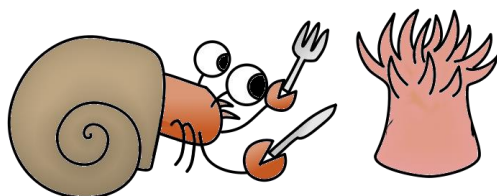
ちなみに、ヤドカリは成長すると貝殻を
引っ越ししますが、このときイソギンチャクも
一緒に移動させます。なんと、ヤドカリがイ
ソギンチャクを貝殻からわざわざはがして、
新しい貝殻にくっつけるのです。彼らはイソ
ギンチャクをはがすコツを心得ているのです。



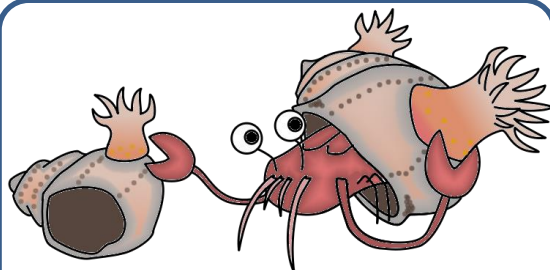
ベニヒモイソギンチャクを
背負ったソメンヤドカリ



普段はイソギンチャクを
使って敵を追い払い...



餌が不足した時には、イソギン
チャクは食糧になる



ヤドカリが貝殻を交換するときには、
イソギンチャクも新しい貝殻につけ
かえる